[長久手町業務評価票:平成20年度業務]

担当課・係名	保健医療課 医療係【問合せ・質問等の先(電話・内線番号) 125]
第4次総合計画の 該当項目	3節5項 子育て支援の充実	

#務の名称 子ども医療費事業 (1) 根拠法令・条例 長久手町子ども医療費支給条例 (2) 当該業務量 (誕人員規模含む) 総業務量の 22.5 % (係の総業務量を100%とする) 総員延人数: 55 人・日 (臨時雇用者延人数: 230 人・日) (3) 事業費 (人件費分を除く) (4) 補助率 (補助金がある場合のみ記載) 32.3 % (平成20年度実績) (5) 業務期間 開始した年度 16 年度 終了(予定)年度 年度 (6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載) 子どもを抱える家庭の医療費の負担を軽減し、子どもの健康や福祉の増進を図ること。) 小学生までの保護者 (子ども医療費受給者証あり)及び中学生の保護者 (受給者証なし) 民(地域、層) (3) 業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績) (平成20年度実績) (集務結果の説明指標) (集務結果の説明指標) (1) 集務を表表 (1) 第2 (1) 第2 (1) 第3 (1) 第4 (1) 第5 (1)	欧马克口						
(2) 当該業務量 (経業務量の 22.5 % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数: 55 人・日 (臨時雇用者延人数: 230 人・日) (3) 事業費 (人件費分を除く) (4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載) (5) 業務期間 開始した年度 16 年度 終了 (予定)年度 年度 (6) 業務の概要 (簡潔に簡条書きで記載) (6) 業務が対象とする住民(地域、層) (2業務が対象とする住民(地域、層) (7学もを抱える家庭の医療費の負担を軽減し、子どもの健康や福祉の増進を図ること。) 小学生までの保護者 (子ども医療費受給者証あり) 及び中学生の保護者 (受給者証なし) 及び中学生の保護者 (受給者証なし) 及び中学生の保護者 (受給者証なし) 中学生の診療医療機関での入院医療費の自己負担分を助成する (現物支給)。中学生の診療医療機関での入院医療費の自己負担分を助成する。 (償還払い) (2業務の実施結果 (平成20年度実績) (2業務が実施 17年度 18年度 19年度 実績 標果の説明指標) (2の年度実績) (4業務の実施結果 1 受給者数 3、3.377 3、635 4、035 7、082 2 医療費 136427 150997 168675 228319	業務の名称	子ども医療費事業					
(延人員規模含む) 職員延入数: 55 人・目 (臨時雇用者延入数: 230 人・目) (3)事業費 (人件費分を除く) (4)補助率(補助金がある 場合のみ記載) (5)業務期間 開始した年度 16 年度 終了(予定)年度 年度 (6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載) (1)業務目的(達成目標) 子どもを抱える家庭の医療費の負担を軽減し、子どもの健康や福祉の増進を図ること。 (2業務が対象とする住 民 (地域、層) 小学生までの保護者(子ども医療費受給者証あり)及び中学生の保護者(受給者証なし) 水学生までの診療医療機関での通院・入院医療費の自己負担分を助成する(現物支給)。中学生の診療医療機関での入院医療費の自己負担分を助成する。(償還払い) (2業務の実施結果 (平成20年度実績) (4業務の実施結果 17年度 18年度 19年度 実績 標 1 受給者数 3、377 3、635 4、035 7、082 2 医療費 136427 150997 168675 228319	(1) 根拠法令・条例						
(人件費分を除く) 228,319 千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する) (4) 補助率 (補助金がある場合のみ記載) 32.3 % (平成20年度実績) (5) 業務期間 開始した年度 16 年度 終了 (予定) 年度 年度 (2 業務が対象とする住民 (地域、層) 子どもを抱える家庭の医療費の負担を軽減し、子どもの健康や福祉の増進を図ること。 小学生までの保護者 (子ども医療費受給者証あり)及び中学生の保護者 (受給者証なし) 小学生までの保護者 (予とも医療費の自己負担分を助成する (現物支給)。中学生の診療医療機関での通院・入院医療費の自己負担分を助成する。(償還払い) (平成20年度実績) 【業務結果の説明指標】 「17年度 18年度 19年度 実績 標準 (4業務の実施結果 (平成20年度実績) (本表の実施結果 (平成20年度実績) 「28者数 3,377 3,635 4,035 7,082 (28319))		
場合のみ記載) 32.3 % (平成20年度実績) (5) 業務期間		<u>228,319</u> 千円(平成20年度決算(細目	・細々目の実	績から抽じ	出・算定す	る)	
(6)業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載) ① 業務目的 (達成目標) ②業務が対象とする住 民 (地域、層) ③業務の具体的な実施 内容・方法 (平成20年度実績) 【業務結果の説明指標】 「実給者数 3,377 3,635 4,035 7,082 2 医療費 136427 150997 168675 228319		32.3_%(平成20年度実績)					
	(5)業務期間	開始した年度 16 年度	終了((予定) 年原		年度	
②業務が対象とする住 民(地域、層) 小学生までの保護者(子ども医療費受給者証あり)及び中学生の保護者(受給者証なし) (3業務の具体的な実施 内容・方法 (平成20年度実績) 小学生の診療医療機関での通院・入院医療費の自己負担分を助成する(現物支給)。 中学生の診療医療機関での入院医療費の自己負担分を助成する。(償還払い) (業務結果の説明指標) 17年度 18年度 19年度 実績 標 1 受給者数 3,377 3,635 4,035 7,082 2 医療費 136427 150997 168675 228319		- (6)業務の概要(簡潔に匿	条書きで記載	載)	<u>-</u>		
民(地域、層) 3業務の具体的な実施内容・方法(平成20年度実績) 小学生までの診療医療機関での通院・入院医療費の自己負担分を助成する。(償還払い) (平成20年度実績) 【業務結果の説明指標】 17年度 18年度 19年度 実績 標準 (平成20年度実績) 1 受給者数 3,377 3,635 4,035 7,082 2 2 医療費 136427 150997 168675 228319	① 業務目的(達成目標)	子どもを抱える家庭の医療費の負担を軽減	し、子どもの	の健康や福	祉の増進を	を図ること。	
内容・方法 (平成20年度実績) 中学生の診療医療機関での入院医療費の自己負担分を助成する。(償還払い) (業務結果の説明指標) 17年度 18年度 19年度 実績 標準 4業務の実施結果 (平成20年度実績) 1 受給者数 3,377 3,635 4,035 7,082 2 医療費 136427 150997 168675 228319		小学生までの保護者(子ども医療費受給者	証あり)及び	ゾ中学生の	保護者(党	受給者証なし	.)
4業務の実施結果 (平成20年度実績) 1 受給者数 17年度 18年度 19年度 実績 20年度 実績 将来目 実績 1 受給者数 3,377 3,635 4,035 7,082 2 医療費 136427 150997 168675 228319	内容・方法						
(平成20年度実績) 実績 標 1 受給者数 3,377 3,635 4,035 7,082 1 1 受給者数 136427 150997 168675 228319						20年度	将来目
(平成20年度実績) 2 医療費 136427 150997 168675 228319		結果の説明指標 	17年度	18年度	19年度	実績	標
	④業務の実施結果	1 受給者数	3, 377	3, 635	4, 035	7, 082	
	(平成20年度実績)		136427	150997	168675	228319	
		3					
5							
				<u> </u>	<u> </u>		

(7)遂行上の問題点、取組課題(箇条書きで簡潔に記載)

保険証が変更になった場合、医療証の交付時には、説明を行っているが、未届けの受給者がある。

(8) 改善実績(過去4年間の実績)

平成20年1月1日より、就学前までの乳幼児の入通院から拡大した。

(9)業務の評価(自己診断)			
評価基準	評価の視点	三段階評価(2~0点)	
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2 点	
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2 点	
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く 状況に対応して適切であったか。	2 点	
④住民の満足・信頼獲 得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2 点	
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2 点	
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2 点	
2点:成果あり、適切だった 1点:ある程度適切だった O点:適切でなかった、遅れている		平均 2 .0 点	

	(10)総合評価 (課の見解)
①今後の方向	①. 前年度と同じく、そのまま継続する。
(該当番号にO印)	2. 見直して継続(業務の拡大)
	3. 見直して継続(業務の縮小)
	4. 見直して継続(方法の改善)
	5. 見直して継続(他業務と統合)
	6. 廃止する。
	7. 休止する。
②評価理由	所得制限もなく、また一部負担もなく、他市町村から転入してきた住民からは好評である。

(11) 今後の目標・改善方針(具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)		
① 改善目標	今後も引き続き、住民への啓発に努めていく。	
②改善時期	随時。	
③改善方法	窓口にて説明。	